



長月に入るも陽射しには未だ暑さが残りますね。それでも朝夕は大分しのぎやすくなってきたのではないのでしょうか。

長月といえば・・・食欲の秋！！今年も山形県秋の風物詩イベント「日本一の芋煮会」が楽しみです。

芋煮会とは、河川敷などの屋外で里芋を材料とした芋煮鍋を仲間と作り、囲んで食べる秋の行楽のひとつです。

地元ではおなじみ、秋のお花見ともいえる芋煮会ですが、青森県を除く東北地方のみで行われている行事であることを皆さまご存知でしたか？

なかでもここ山形県は「芋煮愛」に溢れる県であるのだとか。

この季節、コンビニエンスストアで当然のように薪が店頭に入れ、販売されているようすは、他県の方にはとても不思議な光景に映るようです。

山形県はおおきく庄内地方と内陸地方、2つの地方に分かれておりますが、おもしろいことに、庄内地方は味噌仕立て、内陸地方は醤油仕立てと芋煮も2つの味付けに分かれております。

使用する具材もそれぞれに異なり、県内では2種類の「芋煮」が存在することから、「庄内芋煮の方がおいしい！」「いやいや内陸芋煮の方がおいしい！」と、ときには対地方との「芋煮戦争」なるものが勃発することも・・・。

きっとそれも、同じ「芋煮愛」に溢れる県民同士故のことなのでしょう。

近所の河原で、気の知れた仲間たちとワイワイ盛り上がる芋煮会もとても楽しいのですが、秋の夜長、ひとり静かに、山形の風物詩 2 種類の芋煮を酒の肴にお月見も楽しそうですね。

